

- $\mathbf{u} = \begin{pmatrix} 2 \\ 0 \\ -1 \end{pmatrix}, \mathbf{v} = \begin{pmatrix} 0 \\ 3 \\ 1 \end{pmatrix}, \mathbf{w} = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}$  に対し,  $\mathbf{u} \times (\mathbf{v} \times \mathbf{w}), \mathbf{v} \times (\mathbf{w} \times \mathbf{u}), \mathbf{w} \times (\mathbf{u} \times \mathbf{v})$  を計算せよ. また  $(\mathbf{u} \times \mathbf{v}) \times \mathbf{w}$  を計算し,  $\mathbf{u} \times (\mathbf{v} \times \mathbf{w})$  と一致しないことを確かめよ.
- (線形代数の教科書を参照せよ)  $\mathbf{u}_1, \dots, \mathbf{u}_k \in \mathbb{R}^n$  とする.
  - $\mathbf{u}_1, \dots, \mathbf{u}_k$  が一次独立であることの定義を述べよ. また,  $\mathbf{u}_1, \dots, \mathbf{u}_k$  が一次従属であることの定義を述べよ.
  - $\mathbf{u}_1, \dots, \mathbf{u}_k$  が一次独立であるとき,  $i = 1, \dots, k$  に対し  $\mathbf{u}_i \neq \mathbf{0}$  であることを示せ.
- $\mathbf{a}, \mathbf{u}$  などはずべて  $\mathbb{R}^3$  のベクトルとする. 以下を示せ.
  - $\mathbf{v} \times \mathbf{u} = -\mathbf{u} \times \mathbf{v}$ , 特に  $\mathbf{u} \times \mathbf{u} = \mathbf{0}$
  - $\mathbf{u} \times (\mathbf{v} \times \mathbf{w}) = (\mathbf{w} \cdot \mathbf{u})\mathbf{v} - (\mathbf{u} \cdot \mathbf{v})\mathbf{w}$  (ヒント:  $\mathbf{u} = {}^t(u_1, u_2, u_3)$  などにおいて成分計算すれば一応できる)
  - $\mathbf{u} \times (\mathbf{v} \times \mathbf{w}) + \mathbf{v} \times (\mathbf{w} \times \mathbf{u}) + \mathbf{w} \times (\mathbf{u} \times \mathbf{v}) = \mathbf{0}$  (ヒント: (2) を使う)
  - $(\mathbf{u} \times \mathbf{v}) \cdot \mathbf{w} = (\mathbf{v} \times \mathbf{w}) \cdot \mathbf{u} = (\mathbf{w} \times \mathbf{u}) \cdot \mathbf{v}$  (ヒント: 4/12 の講義の補題 1.4 を使う)
  - $(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \cdot (\mathbf{c} \times \mathbf{d}) = (\mathbf{b} \times (\mathbf{c} \times \mathbf{d})) \cdot \mathbf{a}$  (ヒント: (4) を使う)
  - $(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \cdot (\mathbf{c} \times \mathbf{d}) = (\mathbf{a} \cdot \mathbf{c})(\mathbf{b} \cdot \mathbf{d}) - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{d})(\mathbf{b} \cdot \mathbf{c})$  (ヒント: (2), (5) を使う)
  - $\mathbf{u}, \mathbf{v} \neq \mathbf{0}$ ,  $\mathbf{u}$  と  $\mathbf{v}$  のなす角を  $\theta$  とするとき,  $|\mathbf{u} \times \mathbf{v}| = |\mathbf{u}||\mathbf{v}|\sin\theta$  (ヒント: (6) を使う)
- 一次独立な  $\mathbf{u} = \begin{pmatrix} u_1 \\ u_2 \end{pmatrix}, \mathbf{v} = \begin{pmatrix} v_1 \\ v_2 \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^2$  に対し,  $2 \times 2$  行列  $A := \begin{pmatrix} \mathbf{u} & \mathbf{v} \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} u_1 & v_1 \\ u_2 & v_2 \end{pmatrix}$  を考える.  $\mathbf{u}, \mathbf{v}$  を二辺とする平行四辺形の面積は  $|\det A|$  であることを示せ.  $\det A > 0$  になるときと  $\det A < 0$  になるときの違いは何か?
- $\mathbf{u}, \mathbf{v}, \mathbf{w} \in \mathbb{R}^n$  とする. Cauchy-Schwarz の不等式を使って, 次の三角不等式を証明せよ:

$$|\mathbf{u} - \mathbf{w}| \leq |\mathbf{u} - \mathbf{v}| + |\mathbf{v} - \mathbf{w}|$$

- $\mathbf{u}, \mathbf{v}, \mathbf{w} \in \mathbb{R}^3$  がこの順で右手系をなすとは,  $\det \begin{pmatrix} \mathbf{u} & \mathbf{v} & \mathbf{w} \end{pmatrix} > 0$  をみたすことである.
  - $\mathbf{e}_1, \mathbf{e}_2, \mathbf{e}_3 \in \mathbb{R}^3$  を標準基底とする.  $(\mathbf{e}_1, \mathbf{e}_2, \mathbf{e}_3)$  はこの順で右手系だが,  $(\mathbf{e}_1, \mathbf{e}_3, \mathbf{e}_2)$  はそうではないことを示せ.
  - $\mathbf{u} = \mathbf{e}_1 + \mathbf{e}_2, \mathbf{v} = -\mathbf{e}_1 + 2\mathbf{e}_2 + \mathbf{e}_3, \mathbf{w} = -\mathbf{e}_1 - \mathbf{e}_2 + 3\mathbf{e}_3$  とする.  $(\mathbf{u}, \mathbf{v}, \mathbf{w})$  はこの順で右手系をなすことを示せ. この  $\mathbf{u}, \mathbf{v}, \mathbf{w}$  を図示し, 教科書の図 1.4 と見比べよ.

(提出の必要はありません)

補足.  $\mathbf{u} \in \mathbb{R}^n$  と書いたら  $\mathbf{u}$  は  $n$  個の実数の組で, それ以上の意味は考えなくても数学はできます. しかし何らかの幾何学的な直観がないと, いろいろなことを理解するのは容易ではないと思います. この講義では主に (i) 何らかの始点から伸びる矢印 (ある地点における風とか水流などを想定している), (ii) 原点を始点とする矢印の終点, のいずれかであると考えてください. (ii) の場合は点であって, 矢印という感じではありません. その時々ベクトルが何を表すか見極めるには, 深谷先生の教科書がやっているように, 物理的 (力学的) な視点が役立ちます.

同じものを表す記号が複数ある, というのはよくあることなので注意してください. この講義では, 行列  $A$  の行列式は  $\det A$  で, 転置行列は  $A^T$  で, ベクトルの内積は  $\mathbf{u} \cdot \mathbf{v}$  で表します. 線形代数の講義ではそれぞれ  $|A|, A^T, \langle \mathbf{u}, \mathbf{v} \rangle$  など (あるいは, これら以外で) 表したかもしれません. また教科書ではベクトルの長さを  $\|\mathbf{u}\|$  と表していますが, この講義では  $|\mathbf{u}|$  と書いています. 講義中に現れた記号は断りなく使って構いませんが, 他の記号も, それは何を表すかが明確であれば, 使っても構いません. ただし, 意味が通らない書き方はダメです. 正しい意思疎通のためには, 一般的な言い回しを使うべきです. 過去の経験上, 内積を “ $uv$ ” のように書いてしまう人が非常に多いのですが, これは意味が通りません. 過去もそうだったので, 今回もかなりしつこく減点しますから注意してください.

幾何入門 レポート問題 1 (2019 年 4 月 12 日)

担当：境 圭一

$u, v, w \in \mathbb{R}^3$  がこの順で右手系をなすとは,  $\det \begin{pmatrix} u & v & w \end{pmatrix} > 0$  をみたすことである.  $u, v \in \mathbb{R}^3$  が一次独立であるとき,  $u, v, u \times v$  はこの順で右手系をなすことを示せ. (ヒント: 4/12 の講義の補題 1.4, 演習の問題 2, 3 を使う)

(4/19 の 3 限開始時まで提出してください)

[http://math.shinshu-u.ac.jp/~ksakai/19\\_geometry/19\\_geometry.html](http://math.shinshu-u.ac.jp/~ksakai/19_geometry/19_geometry.html)

幾何入門 レポート問題 1 (2019 年 4 月 12 日)

担当：境 圭一

$u, v, w \in \mathbb{R}^3$  がこの順で右手系をなすとは,  $\det \begin{pmatrix} u & v & w \end{pmatrix} > 0$  をみたすことである.  $u, v \in \mathbb{R}^3$  が一次独立であるとき,  $u, v, u \times v$  はこの順で右手系をなすことを示せ. (ヒント: 4/12 の講義の補題 1.4, 演習の問題 2, 3 を使う)

(4/19 の 3 限開始時まで提出してください)

[http://math.shinshu-u.ac.jp/~ksakai/19\\_geometry/19\\_geometry.html](http://math.shinshu-u.ac.jp/~ksakai/19_geometry/19_geometry.html)

幾何入門 レポート問題 1 (2019 年 4 月 12 日)

担当：境 圭一

$u, v, w \in \mathbb{R}^3$  がこの順で右手系をなすとは,  $\det \begin{pmatrix} u & v & w \end{pmatrix} > 0$  をみたすことである.  $u, v \in \mathbb{R}^3$  が一次独立であるとき,  $u, v, u \times v$  はこの順で右手系をなすことを示せ. (ヒント: 4/12 の講義の補題 1.4, 演習の問題 2, 3 を使う)

(4/19 の 3 限開始時まで提出してください)

[http://math.shinshu-u.ac.jp/~ksakai/19\\_geometry/19\\_geometry.html](http://math.shinshu-u.ac.jp/~ksakai/19_geometry/19_geometry.html)

幾何入門 レポート問題 1 (2019 年 4 月 12 日)

担当：境 圭一

$u, v, w \in \mathbb{R}^3$  がこの順で右手系をなすとは,  $\det \begin{pmatrix} u & v & w \end{pmatrix} > 0$  をみたすことである.  $u, v \in \mathbb{R}^3$  が一次独立であるとき,  $u, v, u \times v$  はこの順で右手系をなすことを示せ. (ヒント: 4/12 の講義の補題 1.4, 演習の問題 2, 3 を使う)

(4/19 の 3 限開始時まで提出してください)

[http://math.shinshu-u.ac.jp/~ksakai/19\\_geometry/19\\_geometry.html](http://math.shinshu-u.ac.jp/~ksakai/19_geometry/19_geometry.html)

幾何入門 レポート問題 1 (2019 年 4 月 12 日)

担当：境 圭一

$u, v, w \in \mathbb{R}^3$  がこの順で右手系をなすとは,  $\det \begin{pmatrix} u & v & w \end{pmatrix} > 0$  をみたすことである.  $u, v \in \mathbb{R}^3$  が一次独立であるとき,  $u, v, u \times v$  はこの順で右手系をなすことを示せ. (ヒント: 4/12 の講義の補題 1.4, 演習の問題 2, 3 を使う)

(4/19 の 3 限開始時まで提出してください)

[http://math.shinshu-u.ac.jp/~ksakai/19\\_geometry/19\\_geometry.html](http://math.shinshu-u.ac.jp/~ksakai/19_geometry/19_geometry.html)